

平成 23 年（2011 年） 2 月那覇市議会定例会

個人質問発言通告書（3 日目）

平成 23 年 2 月 25 日（金）

※ 1 人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	平 良 仁 一 (自民・無所属 連合)	1 陸上競技場 兼サッカー場 建設について	平成 23 年度の施政方針でサッカー少年たちの 夢と熱意に応えて、J リーグの公式戦が開催可能 な競技場の建設に取り組むと掲げているが、そこ で伺う (1) J リーグ公式戦が開催可能なサッカー場 の規模について伺う (2) サッカー場の総建設費はどのくらいか、ま た、予算はどうするのか伺う (3) 平成 23 年度から建設に取り組むと言っ ているが、完成までのスケジュールを具体的に 伺う
		2 保育行政に ついて	(1) 毎年、今の時期になると、待機児童のこ とが問題になるが、当局はどのくらいの待機児 童がいるのか把握しているか。その人数につ いて伺う (2) 待機児童解消のために、当局はどのような 取り組みをしているのか伺う (3) 現在、市内には認可保育園と認可外保育施 設はどのくらいあるのか伺う
		3 農業行政に ついて	(1) 那覇市で農業に従事している人はどのく らいいるのか伺う (2) 以前は年 1 回農作物の展示即売会を開催 していたと聞いているが、現在はどうなっ ているのか伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(3) 那覇市の特産品はあるのか伺う。もし特産品がなければ、戦前那覇の市場で大変評判の良かった、鏡水大根(カガンジデークニ)が復活している。翁長市長も試食されたと思うが、那覇市の特産品にしてはどうか。当局の見解を伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（3日目） 平成23年2月25日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	與 儀 實 司 (自民・無所属 連合)	那覇市の地籍 調査について	従来戦後の地籍調査は、昭和20年(1945年)米軍ニミッツ布告により、戦後の土地所有権は1946年2月28日付、軍政本部指令第121号により始動したが、昭和26年(1951年)4月1日に沖縄は全島的に土地所有権証明書が各市町村長名で交付された。人間に関する記録として「戸籍」があるように土地に関する記録「土地の所在・地番・地目・地籍・所有者名簿」などの「地籍」がある 沖縄県の地籍は、明治32年に制定された沖縄県土地整理法に基づき、いったんは整備されたが、去る大戦において、宮古、八重山群島を除き、公図、公簿のほとんどが焼失した。そこで、冒頭で述べた米軍政本部指令により、戦後の混乱状況下で昭和21年から同26年にかけて、いわゆる「土地所有権認定事業」が実施された しかし、沖縄県、特に那覇市はまだまだ不十分な状況にあると本員は考える 今後、これらの事業、調査についてどのように取り組んでいくのか伺う (1) 本市の平成22年度末時点での地籍調査の進捗率はどのくらいなのか、県全体の進捗率と比べてどうか (2) 地籍調査は個人財産を明確化することだけでなく、本市が行う道路整備や市街化整備事業等を円滑に実施していく上でも大変重要な調査ではないか、当局の見解を伺う (3) 地籍調査が済んでいない地域には消防車や救急車などの緊急車両が入れない地域があるのではないかと、そのような地域は道路拡張などの整備事業が不可欠であり、それができなければ市民の生命と財産を守るという行政の責任が十分果たせない状況とならないのか伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(4) 去る沖縄戦において、本市は壊滅的な状況となり、市民の生命や財産が奪われたことはもちろん、記録簿などの公簿も消失した。沖縄戦による公簿の消失は国の責任は重大であるので、国に要請すべきではないか伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

個人質問（3日目） 平成23年2月25日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	仲 松 寛 (自民・無所属 連合)	1 中核市移行 における保健 業務について 2 民生委員・ 児童委員・福 祉協力員につ いて 3 不発弾の探 査、処理につ いて	中核市移行に関しては、県より多くの権限移譲 がなされるが、その中でも保健業務が主になって くると思われる。保健業務に関して次の事項につ いて問う (1) 保健業務の内容とどのような体制が必要 となるか伺う (2) 保健所設置に係る予算及び設置場所につ いてはどのように考えているか伺う 「第2次那覇市地域福祉計画」によると、住民 による支え合いで地域力をはぐくむとして、民生 委員、児童委員と自治会、NPO、健康福祉団体 の連携強化、担い手の育成として民生委員・児童 委員と福祉協力員による小地域活動の活性化を 掲げているが、民生委員、児童委員、福祉協力員 について、次の事項について問う (1) 民生委員・児童委員・福祉協力員の業務内 容と定数及び不足数について伺う (2) 民生委員・児童委員の慢性的な不足を解消 するため「民生委員推薦準備会」を設置する ことになっているが、どのような体制で、ど のように取り組むのか伺う 昨年10月17日、首里鳥堀町4丁目の住宅建築 工事現場内において、米国製8インチ艦砲弾、不 発弾1発が現地爆破による安全化処理作業が行 われ、避難対象区域及び市民の暮らしに大きな影 響を与えた。よって不発弾処理について、次の事 項を問う (1) 本市における過去2年間の不発弾処理の 件数及び量について伺う (2) 市内における地中に埋もれた不発弾量は どれくらいあるのか伺う (3) 埋もれている不発弾の危険性について伺 う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(4) 公共工事と民間工事における不発弾探査 はどのようなになっているか伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	瀬 長 清 (自民・無所属 連合)	1 市民文化行政について 2 教育行政について	田原市営住宅跡地に老朽化した安次嶺公民館を移転整備することについて 現在の安次嶺公民館は、入口の前の敷地が、那覇市道赤嶺・小禄線の拡幅工事により、敷地がとられ、入口へのアクセスが急な坂道となる見込みであること、また、3階建ての建物にもかかわらずエレベーターがないことから、足の弱いお年寄りの皆さんにとって、不自由な施設となっていること、さらに築後 35 年以上を経過し老朽化していることから、田原市営住宅跡地に移転整備していただきたいと、安次嶺地域の皆さんから強い要望が寄せられている。このことについて、当局の所見を求める (1) 当局は、現在の安次嶺公民館の現状について、どのような認識を持っているか (2) 田原市営住宅の解体時期、入居者の移転状況及び跡地利用について伺う 那覇市におけるキャリア教育の取り組み状況について 本年度卒業予定の大学生や高校生の就職内定率が、過去最低を記録するなど、「新就職氷河期」とも言われ、若者の雇用を取り巻く環境は、大変厳しい状況にある 一方、高校卒業者のうち、大学などの学校にも行かず、仕事にもつかない学卒無業者の割合が、全国平均の 5.7%に対し、沖縄県は、17.4%と全国の 3 倍となり、沖縄県の若者の失業率が高い一因ともなっている その改善のためには、早期のキャリア教育が必要と思うが、那覇市の取り組みについて、当局の所見を求める (1) 那覇市における中学校卒業生の進路状況において、ここ 2 カ年の中学卒無業者数はどのくらいか (2) 那覇市において、小中学校におけるキャリア教育の取り組みは、どうなっているか

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 保育行政について	宇栄原保育所の建て替えについて 移転時期及び進捗状況はどうなっているか伺 う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（3日目） 平成23年2月25日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	亀 島 賢二郎 (自民・無所属 連合)	1 公園行政について 2 教育行政について 3 観光行政について	(1) 那覇市において公園などでゲートボール、グラウンドゴルフなど利用できる施設は何か所あるか (2) いよいよ「沖縄セルラースタジアム那覇」で読売巨人軍のキャンプが行われ県内・市内の少年野球をしている子どもたちに感動と夢を与えている。しかし、那覇市において少年野球ができる場所は少ない。今後、整備などが必要と思われるが、本市の見解を伺う (3) 現在、波の上緑地整備事業が進行中である。さまざまな施設がつけられているが、他市町村にもあるバーベキューなどができる施設をつくる計画はあるか (1) 平成24年度、泊小学校屋内運動場及び泊幼稚園の建て替え計画がある。現在、泊小学校屋内運動場内には、泊学童クラブがあるが、この建て替え工事期間中、泊学童クラブの移転先のめどが立っていない。那覇市の見解を伺う (2) 同時に進められている泊幼稚園についての意見交換会が行われた。現在の進捗状況を伺う (1) 昨年の第26回NAHAマラソンは参加者を25,000人に制限して行われた 第26回NAHAマラソンの経済効果を伺う (2) 第27回NAHAマラソンについても参加者制限を行うか伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（3日目） 平成23年2月25日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	清 水 磨 男 (民 主 党)	1 部隊移設について	那覇にある自衛隊及び米軍の部隊の移設が困難という理由を具体的に伺う
		2 夜間中学校について	那覇市として、夜間中学校の設置を申し出たことがあるのか伺う
		3 保育行政について	公立幼稚園での預かり保育全園実施を目前にして、今一度給食事業への意欲を伺う
		4 企業支援について	アパレル業や飲食業への支援策はどのようなものがあるのか伺う
		5 おもろまち問題について	(1) 過去3年で沖縄県内に10階建て以上のマンションは何件建設されたのか伺う (2) 那覇市として、国に事業の延長申請を行うのか伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（3日目） 平成23年2月25日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	唐 真 弘 安 (自民・無所属 連合)	1 普天間問題 について	鳩山由紀夫先生の「最低でも県外移設」という最低発言や「うそも方便」という言葉の方便発言が大いに功を奏し、普天間問題は相変らずマスコミをにぎわしている。鳩山先生に心から感謝申し上げる。昨今、菅総理大臣をはじめ、中央の政治家たちが世界一のパワーを持つオバマ大統領に背中を押されて来沖し、「右手にひざを折って、沖縄県民の基地過重負担への謝罪」「左手に経済振興をちらつかせ」日米共同発表の名護市辺野古への移設を押し付けようとしている このことは、まさしく平成の琉球処分であり、沖縄差別である。昨年の県知事選挙において、仲井眞、伊波両候補ともに県内移設反対を訴えて選挙戦を闘っており、県民の総意は明々白々である 仲井眞知事は、県民の総意を体して、次々と来沖する総理大臣や閣僚たちに対して、断固反対を表明していることは、県民等しく周知のとおりである。民主主義の根幹は、民意の尊重であり、仲井眞知事の政治姿勢には心から敬意を表明するものである しかしながら、去る2月16日ゲーツ米国防長官による「辺野古移設今春解決を」発言を受け、仲井眞知事は「むちゃくちゃな話で受け入れられない」と怒りをあらわにした 今こそ、翁長市長の音頭取りで普天間問題にけじめをつける意味を含め、県民の総意を表現する「普天間に対する沖縄県民共同宣言」を発表するべきと考えるが、市長の答弁を求める
		2 交流事業に について	中国の胡錦濤国家主席の後継者として20年前の習近平福州市人民代表大会常務委員会主任が決定し、世界に大きく報道されて久しくなる 習近平先生は、配布されている資料に見るとおり、那覇市を訪問されている。福州市在の「琉球館」が復元された時も完成の祝辞を頂いており、那覇市とは縁の深い先生と思っている 翁長市長の施政方針にあるように今年は市制施行90周年に当たり、さらには福州市との友好都市締結30周年になるので、是非とも過去7度にわたって実現して来た「那覇市日中友好の翼」

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			を実現し、福州市との大交流事業を提言する。市長の答弁を求める 【答弁を求める者】 市長、関係部長

個人質問（3日目） 平成 23 年 2 月 25 日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	渡久地 政 作 (自民・無所属 連合)	1 沖縄セルラ ースタジアム 那覇について	昨年 9 月 7 日に行われた公開リハーサルについて、以下伺う (1) 開催した目的とその内容について (2) 公開リハーサルの検証結果を受けて改善すべき点は何か (3) 公開リハーサル開催後、次年度以降のイベントスケジュールに影響はあるのか (4) 市制施行 90 周年事業、また、本市主催のスタジアムを使用したイベントは平成 23 年度どのような計画があるか
		2 福州園について	(1) どのような経緯で建設されたのか伺う (2) 管理者について伺う (3) 来園者数はどのような状況か、最盛時と比べて伺う。また、来園者は観光客が主か伺う (4) 今後の方向性はどのように考えているのか伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長